

報道関係者各位

2011年12月13日
森ビル株式会社
森大廈(上海)有限公司

中国国家プロジェクト上海の国際金融センター化加速 陸家嘴地区環境整備プロジェクト合同着工、森ビルも新規プロジェクト推進へ

森ビル株式会社は、上海市浦東新区政府が推進する「上海陸家嘴金融城(国際金融センター)」の建設に、かねてより事業参加してまいりました。1998年に上海森茂国際大廈(現恒生銀行大廈・203m46階建)、2008年に上海環球金融中心(492m101階建)が竣工し、現在も森大廈(上海)有限公司にて運営管理を行っております。

この度、浦東新区政府による「上海陸家嘴金融城環境インフラ整備強化プロジェクト合同着工式」が、12月12日(月)に上海環球金融中心の隣接地で行われました。当式典は、陸家嘴地区に国際金融センターに相応しいインフラ、商業施設、文化施設をエリア全体で整備する25の計画のうち、11のプロジェクトの合同着工式です。既に14の計画は着手済です。

このプロジェクトのひとつである「環球金融中心公共緑地開発」は、弊社と現地ディベロッパーとの共同事業となり、公共緑地の立体利用および地下空間を有効活用した商業施設です。屋上部分を緑化し、地下に開放的な空間を創出した本施設は、開業後は上海環球金融中心と一体的な運営をおこない相乗効果を高めていきます。今後は2014年の竣工を目指して鋭意取り組んでまいります。

また、弊社が基本計画、設計コンサルティング業務を担当してまいりました「ペDESTリアンデッキ計画」はすでに1期区間(東方明珠～上海国金中心)が供用開始しており、2期区間(上海国金中心～上海環球金融中心)の工事がまもなく開始されます。2012年末には供用開始する予定で、エレベーターやエスカレーターを有しバリアフリーにも配慮したデッキが完成し、安全な歩行空間が更に広がります。

今回の合同着工式により、国際金融センターを目指した街づくりが更に加速してまいります。森ビル株式会社および森大廈(上海)有限公司は、今後も都市開発から運営管理までの総合的な街づくりノウハウを用いて陸家嘴地区においては上海市の魅力的な街づくりに貢献してまいります。

別紙1: 合同着工式 弊社代表取締役会長 森稔 ご挨拶内容

別紙2: 森ビルの上海における取り組み

「環球金融中心公共緑地開発」

当計画は、「上海環球金融中心(492m101階建)」に隣接する公共緑地に商業施設を開発します。その特徴は、緑地における立体利用および地下空間の有効活用、そして屋上部分を緑化する計画です。竣工後は上海環球金融中心と一体感を高め、環境と緑に配慮した「都市と自然の共生」を実現して、陸家嘴地区における更なる賑わいの創出及び魅力的な街づくりに貢献いたします。



完成イメージ

【当計画の主な特徴】

- 公共緑地の立体利用及び地下空間の有効活用による商業施設開発
 - 四季を楽しめる豊かな屋上緑化計画
 - 陸家嘴金融センターの更なる賑わい創出
-

○公共緑地の立体利用及び地下空間の有効活用による商業施設開発

森ビル株式会社が東京での開発ノウハウを生かして、2006年ごろより開発構想を提案し、建設主である陸家嘴金融貿易区開発股份有限公司(SLDC)と計画してまいりました。屋上空間を緑化し、地下空間を有効に活用する立体利用計画は、大都市が直面している街づくりのモデルケースにもなります。

○四季を楽しめる豊かな屋上緑化計画

建物の屋上エリアは緑化をする計画です。陸家嘴地区にて整備が進んでいるペDESTリアンデッキと直接接続する予定で、街の回遊性も高めています。また、植栽は一年を通じて四季を楽しむよう計画されており、地域住民をはじめ周辺のオフィスワーカー、周辺住民や観光客等の憩いの場として整備します。

○陸家嘴金融センターの更なる賑わい創出

開業後は、上海環球金融中心の商業施設と連動して双方の特徴を生かした一体的で統一感ある運営を目指します。また、ホスピタリティあふれるサービスも提供していきます。そして、屋上緑化部分と直接に接続するペデストリアンデッキにより、周辺商業施設との回遊性も一段と高まり、陸家嘴地区の更なる賑わい創出に貢献いたします。

【計画概要】

建設主： 上海陸家嘴金融貿易区開発股分有限公司

コンサルティング：森ビル株式会社

設計： 中船第九設計研究工程有限公司

設計コンサルティング：森大廈(上海)有限公司(建築)

EADGランドスケープ設計(上海)有限公司(ランドスケープ)

邁進工程設計諮詢(上海)有限公司(機械電気)

敷地面積： 12,839 m²

延床面積： 37,063 m²

「ペデストリアンデッキ計画」

当計画は、陸家嘴地区において、オフィスワーカー、周辺住民や観光客が安心して楽しみながら歩ける歩行空間を提供することを目的に、2005年頃に上海市に構想案をご提言しました。その後研究チームを組成し、共同研究が開始されました。2008年には1期区間の工事に着手、2010年の上海万博前にリング部分(明珠環)、バスターミナル部分(東方浮庭)が開通しました。

通常の歩道橋より少し高く、デッキの歩道幅は約9mとゆとりある幅員が確保されています。また景観面も圧迫感のないよう、橋脚やデッキ下部のデザインにも配慮しております。夜はライトアップされており、陸家嘴地区の観光資源としても注目されております。

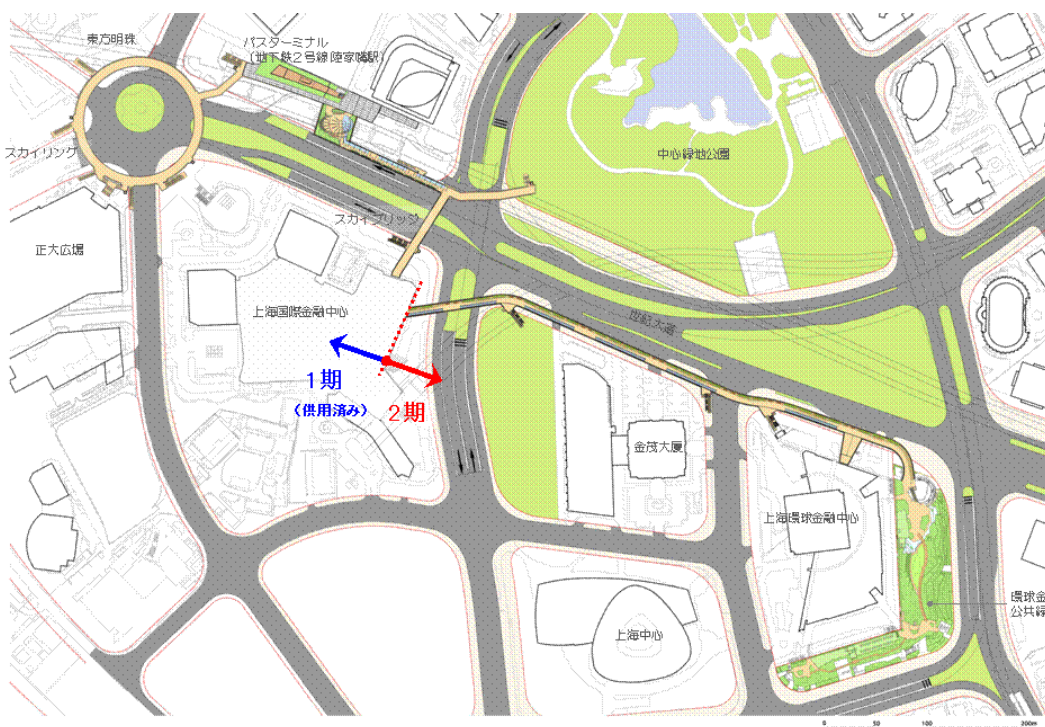


1期区間(全長約860m)



2期区間(全長約540m)

全体図



【本件に関するお問合せ】

(日本) 森ビル株式会社 広報室 野村、史

TEL: 81-3-6406-6606 FAX: 81-3-6406-9306 E-mail: koho@mori.co.jp

(中国) 森大厦(上海)有限公司 媒体宣传部

TEL: 86-21-3867-2288 FAX: 86-21-3867-2101 E-mail: mr@mori-building.com